

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 2016年における世界全体の地下資源産出量の統計において、ブラジルの鉄鉱石やチリの銅鉱石などが大きな割合を占め、アジア州やアフリカ州、オセアニア州などとともに世界の資源供給の重要な拠点となっている州はどこですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 南アメリカ州 2. アフリカ州 3. オセアニア州 4. ヨーロッパ州

問2 南アメリカ大陸の太平洋沿岸から大西洋沿岸にかけての地形断面について、西側の海岸線付近から内陸へ進むとすぐに標高3500mを超える険しい高山地帯が現れ、そこから東のブラジル方面へ進むにつれて標高が低くなっていくという特徴があります。この大陸西縁に連なる巨大な山脈の名称として正しいものはどれですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. アンデス山脈 2. ロッキー山脈 3. ヒマラヤ山脈 4. アルプス山脈

問3 ラテンアメリカの文化や社会の特徴について、人口構成の歴史的背景から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. スペインなどの植民地支配の影響により、先住民と白人の混血であるメスチーソが、メキシコなどで人口の多くを占めるようになった。
2. イギリスの植民地であったニューージーランドでは、先住民であるマオリが白人との共生を目指し、独自の文化を継承している。
3. カナダのように、植民地時代の歴史的背景から、現在でも英語とフランス語が公用語として併記されている。
4. 北アメリカに移住したアフリカ系の人々の音楽と、ヨーロッパの音楽が融合したことでジャズが誕生した。

問4 農業の効率を示す指標のうち、技術革新や農法の改善によって農地一ヘクタールあたりの収穫量を高めることを指す言葉として正しいものを選びなさい。（2016年 三重公立入試 類似）

1. 土地生産性の向上 2. 労働生産性の向上 3. 食料自給率の向上 4. 耕地利用率の向上

問5 南アメリカ大陸にはかつて先住民による独自の文明が栄えていましたが、16世紀にスペインによって滅ぼされた文明の名前と、その後の植民地支配の影響によって現在もこの地域で広く信仰されている宗教の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. インカ帝国とキリスト教 2. アステカ文明とキリスト教 3. インカ帝国とイスラム教 4. アステカ文明とヒンドゥー教

問6 オーストラリアの首都は、先住民の言葉で「出会いの場所」という意味を持つ名称が付けられています。シドニーとメルボルンの対立を避けるために、両都市の中間に位置する場所に建設されたこの計画都市の名前を選択してください。（2021年 大阪公立入試 類似）

1. キャンベラ 2. シドニー 3. メルボルン 4. パース

問7 世界地図において、北アフリカ、南アフリカ、南米南部、南米中北部の4つの地域を比較した際、アンデス山脈が走り、かつてインカ帝国の都市マチュピチュが築かれた地域の特徴を述べた文として適切なものを選びなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 標高2,000mを超える高地に、石造りの神殿や住居跡が残るインカ帝国の遺跡がある。
2. サハラ砂漠が広がり、ナイル川流域を中心に古代エミプト文明が発展した。
3. 広大な平原であるパンパが広がり、小麦の栽培や牛の放牧が盛んに行われている。
4. 金やダイヤモンドなどの鉱産資源が豊富で、かつてアパルトヘイトが行われていた。

問8 オーストラリア大陸は、その面積の半分以上を乾燥帯が占めています。このような気候条件に関連して、オーストラリアの内陸部で行われている土地利用や産業の特色として正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 地下水が得られる地域などで、乾燥に強い羊の放牧が大規模に行われている
2. 年間を通して降水量が多いため、内陸部全体で大規模な稲作が行われている
3. 肥沃な黒土と適度な降水量を活かし、世界最大の企業的穀物農業が展開されている
4. 針葉樹の天然林が広がっており、パルプや木材の輸出が産業の中心となっている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南アメリカ州	南アメリカ州には、アンデス山脈沿いに位置するチリの銅や、ブラジルのカラジャス鉄山などの広大な資源地帯が存在します。2016年時点の産出量割合を見ても、これらの国々が世界市場において重要な地位を占めており、アジアやアフリカなどの他州と比較した際にも、特定の鉱物資源において顕著な産出量を示しているのが特徴です。
問2	答え 1 アンデス山脈	南アメリカ大陸の西側（太平洋側）には、プレートの運動によって形成された標高4000m級の険しい山々が南北に連なっています。この山脈は環太平洋造山帯の一部であり、大陸の東側に広がるアマゾン川盆地やブラジル高原と比較して、極めて標高が高いことが地形的な大きな特徴です。
問3	答え 1 スペインなどの植民地支配の影響により、先住民と白人の混血であるメスチーソが、メキシコなどで人口の多くを占めるようになった。	中南米（ラテンアメリカ）の多くの国々は、大航海時代以降にスペインなどのヨーロッパ諸国の支配を受けました。この過程で、ヨーロッパ系の白人と現地の先住民であるインディオとの間で混血が進み、メスチーソと呼ばれる人々が社会の多数派を形成するようになりました。他の選択肢にあるマオリはオセアニア、英語とフランス語の併記はカナダ、ジャズの誕生は北アメリカ（アメリカ合衆国）に関する記述であり、ラテンアメリカの人口構成の説明としては不適切です。
問4	答え 1 土地生産性の向上	限られた農地からより多くの農産物を得ようとする指標を「土地生産性」と呼びます。オーストラリアなどの広大な土地を持つ国では、かつては粗放的な農業が行われていましたが、近年では技術投入によりこの土地生産性を高める傾向が見られます。これに対し、農手一人あたりの生産量を高めることは「労働生産性」と呼ばれます。
問5	答え 1 インカ帝国とキリスト教	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いではインカ帝国が繁栄していましたが、16世紀にスペインの侵略を受けて滅亡しました。その後、スペインやポルトガルによる長年の植民地支配を受けたことで、支配国の文化であるキリスト教が広まり、現在も社会に深く根付いています。なお、選択肢にあるアステカ文明は現在のメキシコ（北アメリカ州）に位置していた文明です。
問6	答え 1 キャンベラ	オーストラリア最大の都市であるシドニーと、それに次ぐメルボルンの間で首都の座をめぐる争いがあったため、その中間に位置する場所に新たに都市を建設することになりました。この都市は、最初から首都としての機能を果たすために設計された計画都市です。
問7	答え 1 標高2,000mを超える高地に、石造りの神殿や住居跡が残るインカ帝国の遺跡がある。	南米中北部のアンデス山脈周辺には、高度な石組み技術を用いたインカ帝国の遺跡マチュピチュが存在します。他の選択肢は、北アフリカ（エジプト文明）、南米南部（バンバ）、南アフリカ（鉱産資源と人種隔離政策）の特徴を述べており、地理的な位置関係や文化遺産の内容から判別できません。
問8	答え 1 地下水が得られる地域などで、乾燥に強い羊の放牧が大規模に行われている	オーストラリア大陸の内陸部は降水量が少なく、農作物の栽培には適さない乾燥帯が広がっています。そのため、大鑽井盆地（グレートアーテジアン盆地）などで得られる塩分を含んだ地下水を掘り抜き井戸で汲み上げ、乾燥に強い羊の飲み水として利用することで、大規模な牧羊が行われてきました。一方、稲作やタイガ（針葉樹林）はより湿潤な気候や冷涼な気候に見られる特徴であり、乾燥帯が広がるオーストラリア内陸部の記述としては不適切です。